

## 「第3回市民と市長のふれあいトーク」対話概要

|      |                            |     |  |
|------|----------------------------|-----|--|
| 団体名  | 更生保護女性会                    |     |  |
| 実施日時 | 平成29年10月10日（火）午前10時～11時50分 |     |  |
| 実施場所 | 市長室                        |     |  |
| 出席者  | 更生保護女性会                    | 20名 |  |
|      | 市長・秘書広報課                   | 2名  |  |

### 1 市長説明

「袖ヶ浦市のさらなる発展をめざすまちづくりと市政への取組み」

#### 【説明項目】

- 袖ヶ浦市の人口推移について
- 歳入歳出決算額の推移等の財政状況について
- 子育て環境・教育施策の充実について
- 市民の安全安心について
- 高齢者施策について
- 海側地区周辺や内陸部の道路整備について
- 新たなまちづくりの推進について
- 椎の森工業団地の整備について

### 2 意見交換

**更女：**産前産後ヘルパー派遣事業については、利用期間の制限がありますか。

**市長：**あります。妊娠届提出後から出産後6ヶ月になる日の前日までで、多胎児の場合は、1歳の誕生日の前日までです。



**更女：**市内の産婦人科が無くなってしまいましたが、今後はどうなるのでしょうか。

**市長：**現在、誘致をしているところで、これからも努力をしていきます。

**更女：**火葬場については、どうなっていますか。

**市長：**当初、木更津市と袖ヶ浦市の2市で行う考えで進めていましたが、富津市と君津市が共同で持っている火葬場が、平成31年度に地元協議による期限を迎えるため使えなくなってしまうことから、両市の申し入れを受けて4市による運営ということになりました。現在、袖ヶ浦市民の火葬場の使用状況としては、木更津市営火葬場が約3割、いちほら聖苑が約7割となっており、このことから市原市との共同の声もありましたが、これはいちほら聖苑の方が炉数が多いことが影響しているため、今後、いちほら聖苑の大規模改修の時期や距離的・費用的観点から、4市共同の方が良いという結論に至ったものです。火葬場は迷惑施設と考えられていることから、木更津市の地元理解が必要であり、早急に克服して進めていきたいと思っています。

**更女：**私たちは、犯罪のない社会を目指して活動をしています。先ほどの説明では、事故や犯罪が減ってきているとのことですが、状況はどのようなものなのでしょうか。

**市長：**刑法犯の認知件数は減ってきていますが、振り込め詐欺が問題で、数千万円の被害が出たケースもあります。犯罪を減らすためには、力を入れていかななくてはならない問題であり、広報や生活安全メール等でもお知らせをしているところです。先日も、市内で詐欺の訴訟はがきが届くという事例がありました。高齢者のみの世帯が増えている現在は、犯罪の被害を受けやすい状況となっていると言えますのでより一層の対策が必要です。

また、高齢者のみの世帯には、犯罪対策だけでなく、見守りも必要となります。高齢者見守りネットワークを作り、例えば新聞配達の際に様子を見て状況を確認するなどし、協力して連携をとり、高齢者の見守りを行っています。



**更女：**更生保護女性会の活動として、行ってもらいたいことはありますか。

**市長：**社会啓発活動の一つとして、マナー向上への意識啓発も行ってもらいたいと思っています。幹線道路ではごみのポイ捨てが多くみられます。休日の翌日に多く見られることから、市民ではなく、外から来た人がポイ捨てをしていくのだと思われる。今後、長浦駅周辺でのポイ捨て防止キャンペーン活動を予定していますが、

ごみを拾うより、捨てないようにすることが重要です。

**更女：**ひとり暮らし高齢者への緊急通報システムの貸与は、とてもありがたく思っています。

**市長：**緊急通報システムの貸与は、ボタンを押すと警備会社に連絡される緊急通報システム装置を貸出し、通報を受信した場合には、警備会社が状況確認や救急要請等を行うもので、ひとり暮らしの高齢者の日常生活の安全を確保するために支援するものです。

その他にも、世代間支え合い家族支援事業があります。これは、子と高齢者が同居



居するために新築する場合等において、その費用の一部を助成するもので、利用者が増えてきています。

何か、困ったことがあったら、平川や長浦の地域包括支援センターに相談してください。

**更女：**袖ヶ浦市の課題は何ですか。

**市長：**袖ヶ浦市は、全体を見ると人口増加傾向にありますが、それは市街化区域の昭和地区・長浦地区でのことであり、市街化調整区域の平川地区や根形地区では、家を新築することは、農家分家をするなどの条件を満たす必要があることから困難です。また、結婚してしばらくは昭和地区や長浦地区のアパート等に住むというケースも多くみられます。それに伴い、昭和地区や長浦地区での保育所入所希望が増えているという状況です。平川、中富、根形地区の地域活性化が課題であり、観光の要素を加えたり、地域でやる気のある人を応援するなどして、市としても力を入れていく必要があると思っています。

**更女：**高齢者の交通の問題はどうでしょうか。

**市長：**NPOの平川いきいきサポートが、会員制で外出を支援するサービスを行っていますが、その運転手も高齢化している状況です。

路線バスは利用者が少なく赤字で、約4千万円の補助をしています。その補助を減らすためには利用者を増やすことが必要で、広報に一部の路線の無料体験乗車券を載せたところ、結構な数の利用がありました。

免許返納者への対応等も必要であり、NPOに補助をして活動地域を拡大するな

ど、その対策を検討する必要もあると考えています。

**更女：**認定こども園とは、どのようなものですか。

**市長：**一つの施設で、幼稚園部分と保育所部分を併せ持ち、1号認定は幼稚園に入れる子、2号、3号認定は保育所に入れる子と、国により定められた3つの認定区分に基づき入園するものです。保護者のニーズに応じて選択が可能となるよう、幼児教育と保育を一体的に行います。

**更女：**保育士の確保が難しいと聞きました。

**市長：**保育士は全国的に不足しています。東京等の給料の高いところに就職してしまうので、袖ヶ浦市では、私立保育園の保育士1人あたり月額2万円の補助を出し、給料の改善をし保育士の安定的な確保に取り組んでいます。



**更女：**高須地区には、公園がありません。

**市長：**海側地区のこども園近くに造る予定ですが、高須地区に限定するとありません。海浜公園は有名で、氣志團万博等にも利用されています。使い勝手を良くするために、今年度からバーベキューができるようにする予定です。

**更女：**南袖の火葬場用地はどうになりましたか。

**市長：**入札をして、企業に貸し出しています。簡易的な建物もあり、船が着くよう栈橋も貸し、船の製造・点検等を行っています。



**更女：**ふるさと納税の状況はどうですか。

**市長：**ふるさと納税は、約3千万円ほどあります。そこから4割程が、返礼品と送料や手続き代としてかかりますので、実質的な収入は約6割です。反対に、袖ヶ浦市民が他市に寄付をするので、出入りはほとんど変わりま

せん。返礼品を目的とする、富裕層に有利な制度のように思えます。

市には、地方交付税をもらえる市ともらえない市があります。分かりやすくするため簡単に説明すると、収入と支出を割り算し、収入が上回っているところは財政力指数が1.0以上の市ということになります。財政力指数が1.0を上回ると地方交付税はもらえなく、全国で約80の自治体が該当します。千葉県では、成田市、浦安市、袖ヶ浦市が常連市です。君津市や市原市は、もらえたりもらえなかったりしており、木更津市はもらっているという状況です。

また、子どもの数ですが、君津市は減少、木更津市でも学校の統合が予定されているような状況ですが、本市では地域によっては増加しており、奈良輪小や蔵波小では校舎の増設をします。これは子育て施策が評価されているためと考えています。

袖ヶ浦市は地理的優位性が高く立地条件が良いことから、人口増のため、魅力発見バスツアーの開催等、様々な取組みを続けていきたいと思えます。